

6. 風土・資源

(1) 歴史資源等の分布状況

- ◆ 指定文化財は、国指定文化財 5 件、県指定文化財 10 件、市指定文化財 35 件。
- ◆ 205 箇所¹⁾の遺跡が確認されている。

指定文化財は、国指定文化財 5 件、県指定文化財 10 件、市指定文化財 35 件がある。また、黒石市内には 205 箇所¹⁾の遺跡が確認されており、主に平坦な丘陵地に所在している。これまでに、15 箇所²⁾の発掘調査が行われている。

表 1-6-1 指定文化財一覧 (平成21年1月1日現在)

指定区分・種別等	名 称	員 数	指定・選定年月日
国 重要文化財	高橋家住宅	3棟	S48.2.23指定 H16.12.10追加指定
国 名勝	金平成園(澤成園)		H18.1.26指定
国 重要伝統的建造物群保存地区	黒石市中町伝統的建造物群保存地区	約3.1ha	H17.7.22選定
国 登録有形文化財	九戸家住宅主屋	1棟	H18.10.17登録
国 登録記念物	鳴海氏庭園		H19.7.26登録
県 県重宝	金梨子地牡丹紋散蒔絵衛府太刀拵	1口	S49.10.14指定
県 県重宝	法眼寺鐘楼堂	1棟	S53.8.24指定
県 県重宝	法眼寺本堂	1棟	H5.4.16指定
県 県重宝	明歴の検地帳	22冊	H12.4.19指定
県 県重宝	黒石市消防団第三分団第三消防部屯所	1棟	H15.7.14指定
県 県無形民俗文化財	大川原の火流し		S58.1.20指定
県 県無形民俗文化財	黒石ねぶた		H5.4.16指定
県 県無形民俗文化財	上十川獅子踊		H11.7.23指定
県 県天然記念物	妙経寺のカヤの木	1本	S63.10.25指定
県 県天然記念物	中野神社の対植えのモミ	1対	H20.4.25指定
市 (3) 民俗文化財	黒石よされ踊元踊		S57.11.4指定
市 (5) 天然記念物	中野のモミジ	3本	S58.2.1指定
市 (6) 天然記念物	大杉	3本	S58.2.1指定
市 (7) 天然記念物	モミの木	2本	S58.2.1指定
市 (8) 天然記念物	石割楓	1本	S58.2.1指定
市 (9) 有形文化財	浄仙寺仁王像	2体	S59.10.12指定
市 (10) 民俗文化財	上十川の追分石	1基	S59.10.12指定
市 (11) 民俗文化財	薬師寺の石敢當碑	1基	S59.10.12指定
市 (12) 民俗文化財	赤坂の庚申塔	1基	S59.10.12指定
市 (13) 民俗文化財	竹鼻の五庚申塔	1基	S59.10.12指定
市 (14) 有形文化財	藩祖信英公書状	1通	S61.1.7指定
市 (16) 有形文化財	日蓮聖人断簡	1通	S61.1.7指定
市 (17) 有形文化財	藩祖信英公書状(2)	1通	S61.8.7指定
市 (18) 民俗文化財	獅子が沢のしし石	2基	S62.1.10指定
市 (19) 天然記念物	袋のイチョウ	1本	S63.3.4指定
市 (20) 民俗文化財	馬場尻の庚申塔	1基	H元.3.3指定
市 (21) 民俗文化財	竹鼻の廻国納経塔	1基	H元.3.3指定
市 (22) 民俗文化財	竹鼻の百観音碑	1基	H元.3.3指定
市 (23) 民俗文化財	法眼寺の砂踏之碑	1基	H元.3.3指定
市 (25) 天然記念物	村上家のイチイ	1本	H2.12.6指定
市 (26) 有形文化財	木庵性瑠像	1幅	H4.3.6指定
市 (27) 有形文化財	隠元隆琦像	1幅	H4.3.6指定
市 (29) 有形文化財	法眼寺開山堂	1棟	H4.7.7指定
市 (30) 有形文化財	法眼寺山門	1棟	H4.7.7指定
市 (31) 有形文化財	鳴海家住宅	1棟	H10.4.10指定
市 (32) 有形文化財	剣	1振	H11.1.5指定
市 (33) 有形文化財	御神刀	1振	H12.3.24指定
市 (34) 有形文化財	釣燈籠	1対2基	H12.3.24指定
市 (35) 有形文化財	石燈籠	2対4基	H12.12.6指定
市 (36) 天然記念物	サルスベリ	1本	H12.12.6指定
市 (37) 有形文化財	駕籠	1挺	H12.12.6指定
市 (38) 天然記念物	高田家の糸ヒバ	1本	H13.12.6指定
市 (40) 有形文化財	津軽信敏建立の石碑	1基	H17.3.14指定
市 (41) 有形文化財	藩祖信英公頌徳碑	1基	H17.3.14指定
市 (42) 有形文化財	黒石神社の神門	1棟	H20.5.8指定

資料: 2009年市勢概要 くらいし

黒石市中町伝統的建造物群保存地区（中町こみせ通り）



黒石市中町およびその周辺（前町、浜町等）は、浜街道と呼ばれる商人町として江戸時代から栄えていた。中町には、国の重要文化財である「高橋家住宅」や市指定有形文化財「鳴海家住宅」をはじめ、旧佐藤家住宅（旧松の湯）、西谷家住宅、中村亀吉酒造店、盛家住宅など江戸時代中期から明治・大正・昭和初期に建てられた伝統的な建物が並んでいる。そして、この通りの景観を大きく特徴づけているのが「こみせ」である。

こみせは、商家正面の道路側に設けられたひさし状の通路空間で、住民も訪問者も、雨や夏の強い日差し、冬の吹雪から逃れて快適に歩行できる。同じものが越後地方では「雁木」、米沢地方では「こまや」と呼ばれ、積雪地帯で一般的にみられるものであったが、伝統的な形態を保ったまま連続して現存しているのは、ここ黒石市中町だけとなっている。

中町こみせ通りは全国的にも貴重であるとして、重要伝統的建造物群保存地区選定のほかに、昭和62年「日本の道百選（建設省）」、平成19年「美しい日本の歴史的風土100選（（財）古都保存財団）」にそれぞれ選定されている。また、平成17年から18年にかけて「手作り郷土賞大賞（国土交通省）」、「都市景観大賞・美しいまちなみ優秀賞（（財）都市づくりパブリックデザインセンター）」を受賞した。

市としては、平成9年から横町かぐじ広場および中町側からの回遊通路と水辺空間を完成させた。平成12年には「津軽こみせ株式会社」（第3セクター）が設立され、地元物産の販売、ライブハウス等の運営のほか、イベント広場や親水空間整備などを実施している。また、平成13年に策定した「黒石市新長期総合プラン」においては、『こみせ』が輝き、『真の豊かさ』を実感できる文化の薫りが高いまちづくり方策が掲げられている。

平成18年から、重要伝統的建造物群保存地区として、文化庁の補助を受けながら保存修理事業に取り組んでいる。江戸時代から受け継がれてきたそのままの形でこみせを保存していくために、平成20年には「黒石市中町伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限の緩和に関する条例」を制定した。



(2) 今後とも残したい風景、文化

◆景色では一位は「中野のみみじ山」で81.2%であった。

◆文化では一位は「黒石よされ祭り」で76.0%であった。

結果を見てみると、黒石市民にとっては「お祭り」と「りんご」と「もみじ」は欠かせない存在なのが見える。

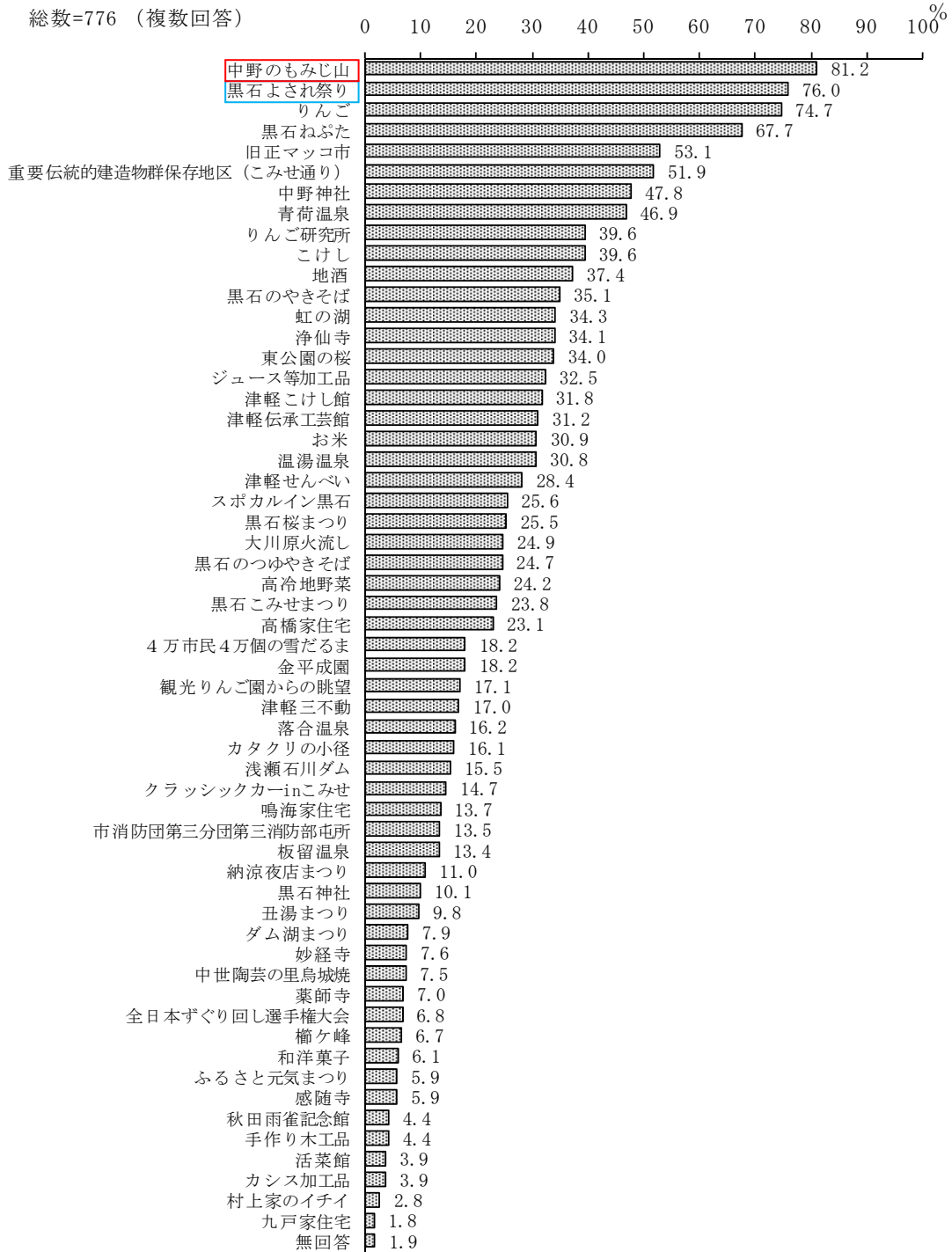


図 1-6-1 今後とも残したい風景や文化

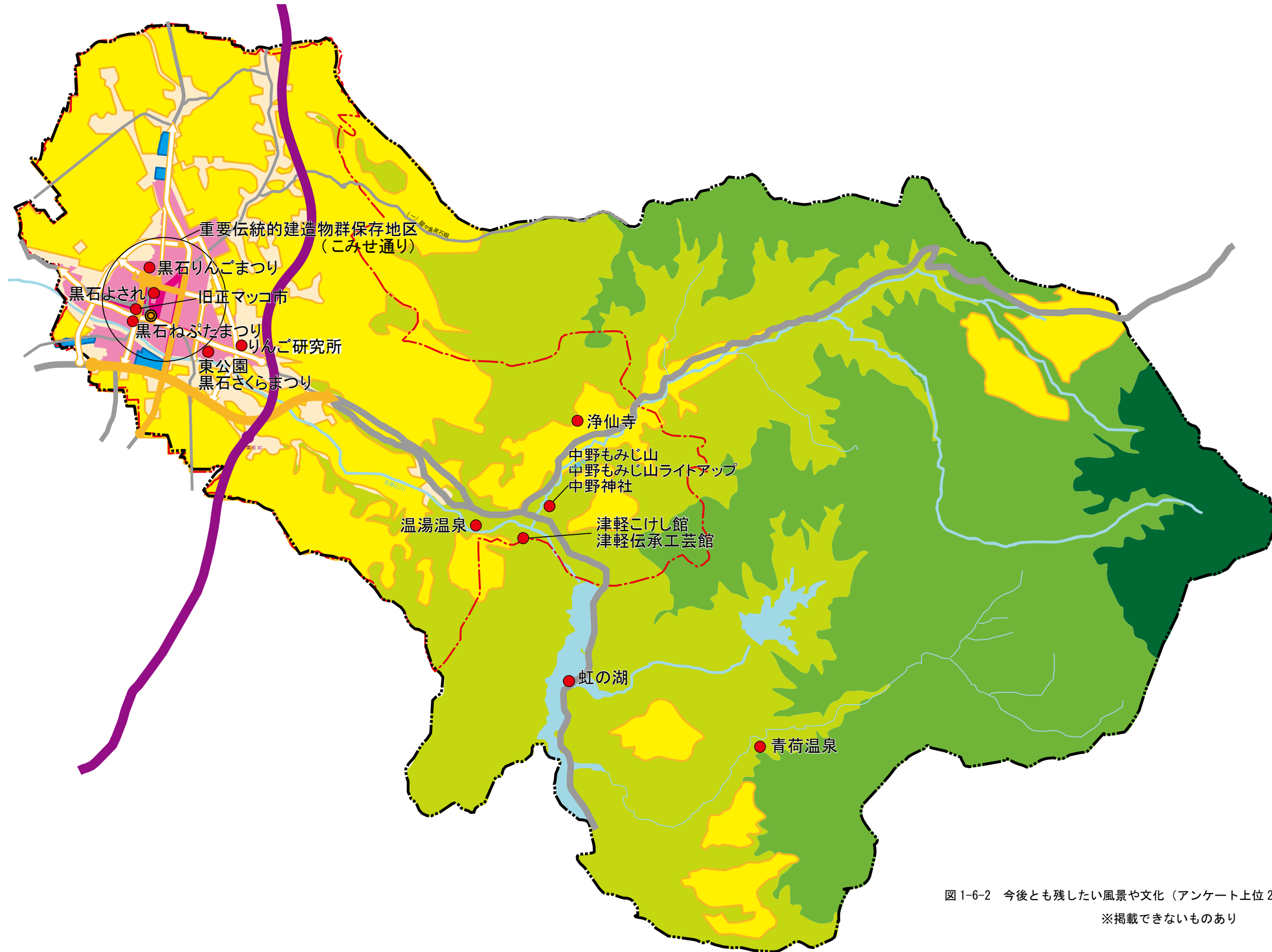


図1-6-2 今後とも残したい風景や文化（アンケート上位20位以内の箇所掲載）
※掲載できないものあり